

令和7年第8回定例教育委員会

令和7年8月27日（水）午後2時30分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員	麓	美	絵	説明員	教育部長	佐藤	学
	委員	新	館	忠		教育部次長	新	山
	委員	兼	子	弘		学校教育支援室長		千
	委員	松	田	久			小	棕
欠席者	教育長	黒	川	淳		総務課長	山	崎
						総務課参事	伊	藤
						総務課主幹	清	水
						学校教育課長	稲	田
						教育支援課長	水	口
						教育支援課参事	米	山
						対雁調理場長	井	上
						生涯学習課長	星	野
						スポーツ課長	松	井
						スポーツ課主幹	天	野
						情報図書館長	佐	野
						郷土資料館長	堀	井
						郷土資料館参事	兼	平
					記録員	総務課総務係長	本	田
					傍聴者	なし		拓

1 報告事項

- (1) 令和7年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果について
- (2) 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (3) 令和7年度江別市一般会計補正予算の査定について
- (4) 令和7年度青少年キャンプ村「こんがり王国」の実施結果について
- (5) 本でつながるまちづくり事業（公用車への広告掲載）について

2 審議事項

- (1) 令和7年議案第26号
令和8年度に使用する小学校用教科用図書の採択について
- (2) 令和7年議案第27号
令和8年度に使用する中学校用教科用図書の採択について
- (3) 令和7年議案第28号
令和8年度に使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について

3 その他

- 次回教育委員会予定案件について
- 令和7年第9回定例教育委員会の日程について

会 議 録	
麓教育長職務 代理者	(開会) ただいまから、令和7年第8回定例教育委員会を開会いたします。 本日の議事日程は、配付のとおりであります。 会議に先立ち、本日の会議録署名人を兼子委員にお願いいたします。 また、本日の審議事項であります、議案第26号から議案第28号までの3件の議案につきましては、関連がありますことから、一括説明、一括質疑、一括承認を踏む形で進めてよろしいでしょうか。 (異議なし) そのように確認いたします。 それでは、議事に入ります。 1の報告事項(1) 令和7年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果についての報告を求めます。
清水教育政策 担当主幹	清水教育政策担当主幹をお願いします。 報告事項(1) 令和7年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果について、ご報告いたします。 学校一斉公開は、地域に開かれた学校づくりの促進により、地域や保護者等に学校への理解を深めていただくとともに、学校と地域の連携協力体制の強化を図るため、平成14年度から年に2回実施してきたものでございます。本年度は、6月12日木曜日に1回目の学校一斉公開を開催し、無事終了いたしました。本日は、見学者からのアンケートの集計結果をご報告するものでございます。 資料をご覧ください。まず、1ページ上段に記載しておりますが、今回の見学者は、市内の公立小中学校25校と、立命館慶祥中学校を合わせて、延べ1,980人であり、アンケートの回答者数は1,210人、回答率は61%でした。なお、全体の見学者数は、昨年6月の実施時より183人増加しております。 次に、アンケートの集計結果のうち主なものについて、ご説明いたします。問1「この学校にご自分の家族はいますか。」について、「いる」と回答した人は全体で51%となっており、約半数が保護者等以外の地域の皆様に来校していただいています。 2ページをご覧ください。問4「学校一斉公開は、今後も必要と思いますか。」、問5「機会があれば今後も学校に来たいと思いますか。」について、「思う」と回答した人の割合が、小学校、中学校ともに、ほぼ100%となっており、学校への関心の高さがうかがえます。問6「学校は地域に開かれていると思いますか。」につきましても、「開かれていると思う」と答えた方の割合が9割以上と、高い結果になっております。 3ページをご覧ください。問9の「児童・生徒の様子はいかがでしたか。」については、「大変よい」及び「よい」の割合が合わせて約9割となっており、見学者の多くが、江別市の児童生徒に好印象を持ったことがうかがえます。4ページ及び5ページには、自由記載欄における見学者の感想等について、回答数と、主な感想等を掲載しております。児童・生徒関係では、「みんな挨拶をしてくれて、とても明るい印象を受けた。」、施設・設備関係では、「校舎がとてもきれいに使用されている。」、学校一斉公開関係では、「参観日は授業中心にしか見られないので、給食、掃除、休み時間の様子が見られて良かった。」といった感想が多く見られました。また、エアコンの設置やトイレの改修など、市の教育行政全般に係る意見・要望等や、学校一斉公開の運営に係る意見等についても記載がありました。なお、別冊で、見学者の感想等を取りまとめたものをお配りしておりますので、ご参照ください。 最後に、5ページ下段の「3 見学者の感想等を踏まえた今後の対応について」をご覧ください。総務課では、アンケート結果と併せて今後の対応をホームページで公表しております。まず、(1)の「市の教育行政全般に係る意見・要望」に対しては、「各学校及び関係部署に伝達し、今後の市の教育行政に生かしていく」旨、総括的に回答いたします。また、学校一斉公開の運営等に係る要望等のうち、本事業の改善策として総務課が直ちに組み入れるものとして、(2)の「一斉公開用の時間割に時刻も書いてあるとありがたい。」旨の要望及び「教室ではない場所での授業が、どこでやっているのかわかりにくかった。」との意見に対しては、各学校に対し、当日配付する時間割に授業開始時刻及び終了時刻、また、普通教室で授業を行わない場合はその実施場所を記載するよう改めて依頼する旨、

麓教育長職務 代理者	回答いたします。以上です。 ただいま報告のありました、令和7年度第1回学校一斉公開アンケート集計結果について、質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承)
稲田学校教育 課長	次に、報告事項(2) 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果についての報告を求めます。 稲田学校教育課長お願いします。 報告事項(2) 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果についてご説明いたします。 令和7年度の全国学力・学習状況調査は、令和7年4月に実施し、7月下旬に文部科学省より江別市教育委員会にその集計結果が送付され、この度、その結果を分析いたしましたので、ご報告いたします。 それでは資料の1ページをご覧ください。Ⅰ調査の概要の1調査の目的については、記載のとおりであります。2調査の対象学年等につきましては、小学校6年生及び中学校3年生が対象であり、市内全25校で実施しております。3調査の内容ですが、(1)教科に関する調査は、小学校6年生が国語と算数と理科、中学校3年生が国語と数学と理科であり、(2)質問紙調査では、児童生徒に対する調査と学校に対する調査が行われました。なお、今回の調査では、中学校理科が文部科学省のCBTシステムによるオンライン調査で行われております。4調査方式、5調査期日については記載のとおりです。6調査結果の解釈等に関する留意事項ですが、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえる必要があります。 2ページをお開き願います。次にⅡ結果の概要です。まず、1教科に関する結果の概要ですが、江別市の小学校6年生の平均正答率は、国語・算数・理科ともに全道・全国平均を上回り、中学校3年生の平均正答率は、国語・理科が全道・全国平均を上回っています。続いて、2質問紙調査に関する結果の概要について、何点かご説明します。1点目「授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う」割合は、小学校、中学校ともに100%で、全国平均を上回りました。2点目「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」割合は、小学校、中学校ともに全国平均を上回りましたが、さらに高めていく必要があります。3点目「自分にはよいところがあると思う」割合、及び「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」割合は、小学校は全国平均と同等でしたが、中学校では全国を下回っており、引き続き各学校での取組を充実させていく必要があると考えております。5点目「ICT機器を活用した授業を週3回以上行った」割合は、学校質問紙、児童生徒質問紙ともに高く、児童生徒がタブレット端末を多くの場面で活用し、スキルアップしている様子が見られました。 3ページをご覧ください。Ⅲ各教科の結果については、3ページから9ページにかけて記載しております。ここでは、教科ごとに、正答数の分布グラフ、江別市・北海道・全国の平均正答数と平均正答率及び学習指導要領の領域別の設問数と平均正答率等を表にしています。小学校国語の正答数分布グラフでは、棒グラフで表示した江別市の正答率は、右側、正答数が多くなって行くほど北海道及び全国の折れ線グラフを超えており、他の教科においても概ね同様の傾向となっております。また、各教科のページ下部には今後の指導の参考とするため、市教委指導主事により「正答率の低い設問及び学習指導の改善点」を記載しておりますので、後ほどご確認くださいませようをお願いいたします。 8ページをお開き願います。中学校理科は、今年度オンライン方式で行われ、その結果は、IRTという国際的な学力調査等で採用されるテスト理論により分析されています。問題構成につきましては、生徒一人あたり、公開問題が10問、非公開問題が16問出題されており、公開問題に係る分析結果は表に記載のとおりです。なお、公開問題10問の内、設問1の6問は市内8中学校共通となっております。 このように、学力に関しては、小中学校とも全体的に良い結果となりましたが、平均に届いていない子ども達もおりますことから、教育委員会といたしましては、引き続き学習サポート教員の派遣等の人的支援を効果的に活用するなど、各学校において、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導・支援を行ってまいりたいと考えております。

麓教育長職務 代理者	次に、10ページをお開き願います。Ⅳ質問紙調査の結果についてですが、1「児童・生徒質問紙」は、児童生徒が生活習慣や学習習慣等について回答した結果であり、10ページから12ページにかけ、「生活習慣」など7項目について、特徴的なものを記載し、併せて改善に向けた取組を四角で囲んだ部分に記載しております。なお、表中の増減比につきましては、5ポイント以上プラスの場合は太字で、5ポイント以上マイナスの場合は網掛けで表示しております。 10ページの下段をご覧ください。(3)自己肯定感に関するこれらの質問は、市の総合計画等でも指標として設定するなど、市教委として重視している設問であります。①「自分にはよいところがあると思うか」の設問では、肯定的な回答をした割合が、小学6年生が86.6%、中学3年生が81.8%でありました。昨年度に比べると小学生は増加しましたが、中学生は減少しています。また、11ページ③「将来の夢や目標を持っているか」の設問では、肯定的な回答をした割合が、小学6年生81%、中学3年生65.1%であり、いずれも昨年度より減少しています。市教委といたしましては、小中一貫教育の更なる充実等を通じて、引き続き児童生徒の自己肯定感の醸成に努めてまいります。 次に、12ページをお開き願います。(7)ICT機器の活用につきましては、①「学校の授業でICT機器を週3回以上使用した」割合が、小中とも昨年度より増加するとともに、全国比を大きく上回っております。また、⑤「ICT機器を使ってプレゼンテーションを作成することができる」割合につきましても、小中とも全国平均を上回っております。このように江別市の小中学校では、ICT機器の活用が進んでいる状況にありますが、これはあくまでも手段でありますことから、学習のねらいを達成するために、有効に活用することが大切です。 次に、13ページをご覧ください。こちらは2「学校質問紙」であり、13ページから15ページにかけ、学校の教育活動等について学校が回答した結果のうち、「学習規律」など10項目について特徴的なものを記載し、併せて改善に向けた取組等を四角で囲んだ部分に記載しています。14ページ下段(7)「組織としての学校」の2つの質問結果からは、教員が授業や学級の問題を抱えている場合に、個人ではなく組織で対応できている状況が窺えます。 16ページをお開き願います。16ページから29ページは、児童・生徒質問紙と学校質問紙の項目について、抜粋したものをグラフにして掲載しており、全国平均よりもプラス5ポイント以上を太字、全国平均よりもマイナス5ポイント以下を網掛けとしておりますので、後ほどご確認ください。 最後に、30ページをお開き願います。江別市「学校改善支援プラン」です。まず、上段の、明らかになった課題の主なものとしましては、1点目の、全国学力・学習状況調査等の学力検査の結果からは、8行目に記載のとおり、江別市の児童生徒は「根拠を明確にして説明する力」や「データを活用する力」が弱く、これらの力を身につける機会を増やすことが求められます。次に2点目の、児童生徒質問紙からは、自尊意識を問う設問において、小中学校とも全国平均を下回っており、今後も、教育活動全体を通じて、一人一人のよさや可能性を見だし、それらを発揮できる場を設定し、自己肯定感等を高める教育を続けていく必要があります。資料の下段、左側は課題解決に向けた学校の取組であり、右側が、学校に対する教育委員会の支援です。教育委員会の支援の中で主なものとしましては、小中一貫教育の推進に係る支援や、学習サポート事業などの人的・物的支援があります。 資料の説明については以上であります。これら調査の分析結果と支援プランは、来月の校長会議において情報提供を行い、今後も市教委と学校が連携・協力し、学習状況等の改善を図っていきたいと考えております。また、調査結果につきましては、後日ホームページで公表する予定です。説明は以上です。 ただいま報告のありました、令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について、質問等がございましたらお受けします。 (質疑なし) それでは、本報告について終了してよろしいですか。 (一同了承) 次に、報告事項(3)令和7年度江別市一般会計補正予算の査定についての報告を求めます。
-----------------------	--

井上給食センター対雁調理場長	井上給食センター対雁調理場長お願いします。 報告事項（３）令和７年度江別市一般会計補正予算の査定について、ご報告いたします。 資料をご覧ください。前回の定例教育委員会におきまして、第３回市議会定例会に提出を予定している一般会計補正予算のうち、教育委員会所管分につきまして、財政部局の査定前の内容でご説明申し上げましたが、過日、査定結果の通知を受けました。１０款５項保健体育費、「学校給食原材料費高騰対策事業（物価高騰対策）」の査定の結果は、お手元に配付している資料のとおりであり、教育部補正額は、要求どおり１，９７９万５千円の増額となるものであります。今後は、９月２日開会の第３回江別市議会定例会に補正予算案として提出いたします。以上です。
麓教育長職務代理者	ただいま報告のありました、令和７年度江別市一般会計補正予算の査定について、質問等がございましたらお受けします。 （質疑なし） それでは、本報告について終了してよろしいですか。 （一同了承） 次に、報告事項（４）令和７年度青少年キャンプ村「こんがり王国」の実施結果についての報告を求めます。
星野生涯学習課長	星野生涯学習課長お願いします。 報告事項（４）令和７年度青少年キャンプ村「こんがり王国」の実施結果についてご報告いたします。 資料をご覧ください。１開催概要であります。セラミックアートセンターの敷地を会場として、例年と同様に１泊２日の日程で５回実施しました。２申込者数と、３参加決定人数及び参加者数であります。定員を１日８０人、５日間で４００人にて募集したところ、８８組２４４人の申し込みがあり、都合により欠席者が出たものの、８７組２３９人の参加がありました。８月４日から９日までの期間中、時折、雨にあたることもあり、第４日目の８月７日は夜間の雷雨のため、テント泊を中止して屋内に宿泊し、翌朝から屋外での活動を再開しました。全体を通して大きな事故等もなく、無事に終了しております。参考としまして、令和４年度から令和６年度の参加者数は記載のとおりです。以上です。
麓教育長職務代理者	ただいま報告のありました、令和７年度青少年キャンプ村「こんがり王国」の実施結果について、質問等がございましたらお受けします。 （質疑なし） それでは、本報告について終了してよろしいですか。 （一同了承） 次に、報告事項（５）本でつながるまちづくり事業（公用車への広告掲載）についての報告を求めます。
佐野情報図書館長	佐野情報図書館長お願いします。 報告事項（５）本でつながるまちづくり事業（公用車への広告掲載）について、ご説明いたします。 資料をご覧ください。１概要であります。情報図書館では、今年度から「本でつながるまちづくり事業」として、企業等の協力を得た雑誌導入を行っておりますが、この事業の一環として、新たに情報図書館の公用車に広告掲載する企業等を募集するものであります。次に２対象車両であります。軽自動車１台であり、月当たりの走行距離は概ね１，０００ｋｍであります。次に３搬送回数であります。週１２回行っており、内訳は資料に記載のとおりであります。次に４搬送対象施設であります。計６施設であり、内訳は資料に記載のとおりであります。次に５広告内容であります。広告物の掲載は、マグネットシートの貼付によるものとし、作成及び費用負担についても広告主側で行ってもらうものとしております。また、掲載箇所及び大きさについては、資料に記載のとおりであります。次に６広告掲載料であります。税込みで月額４，７３０円としており、令和７年度見込額は、仮に１１月に協力企業等が決定し広告物がすぐに準備できた場合は、２３，６５０円になります。次に７スケジュール（予定）であります。広告募集期間を９月１６日から１０月１２日までとし、協力企業等の決定を１１月、広告掲載期間については、広告物が準備出来次第、掲載を開始し、翌年３月まで実施するものであります。説明は以上であります。

麓教育長職務 代理者	ただいま報告のありました、本でつながるまちづくり事業（公用車への広告掲載）について、質問等がございましたらお受けします。 （質疑なし） それでは、本報告について終了してよろしいですか。 （一同了承）
稲田学校教育 課長	続いて、2の審議事項に入ります。審議事項（1）令和7年議案第26号令和8年度に使用する小学校用教科用図書の採択について、（2）令和7年議案第27号令和8年度に使用する中学校用教科用図書の採択について、（3）令和7年議案第28号令和8年度に使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について、以上3件について、一括説明を求めます。 稲田学校教育課長お願いします。 審議事項（1）～（3）議案第26号から議案第28号まで、一括してご説明いたします。 初めに、議案第26号令和8年度に使用する小学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。教科用図書の採択につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条および、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条の規定により、採択した教科用図書の発行が行われないなど特別な場合を除き、4年間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとされております。 資料1ページをご覧ください。令和8年度に使用する小学校用教科用図書につきましては、石狩管内の7市町村で構成する第1地区教科用図書採択教育委員会協議会における選定結果に基づき、令和5年第8回臨時教育委員会において採択していただいた、現在使用しております、2ページに記載の教科用図書を、令和8年度においても使用することについて、ご承認いただくものでございます。 次に、議案第27号令和8年度に使用する中学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。 資料1ページをご覧ください。中学校用教科用図書につきましても、小学校同様、協議会における選定結果に基づき、令和6年第8回定例教育委員会において採択していただいた、現在使用しております、2ページに記載の教科用図書を、令和8年度においても使用することについて、ご承認いただくものでございます。 次に、議案第28号令和8年度に使用する小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択についてご説明いたします。小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、学校教育法附則第9条により、文部科学省検定済教科書及び文部科学省著作教科書以外の図書を使用することができるとされておりますことから、別冊にあります北海道教育委員会が作成した、「令和8年度使用小・中学部を置く特別支援学校及び小・中学校特別支援学級教科用図書（一般図書）採択参考資料」に登載されている333点の一般図書を採択しようとするものです。なお、この一般図書につきましては、北海道教育委員会から示された参考資料の内、今年度新たに加わった6冊について、管内の教員等による5名の委員がその内容を調査研究し、その調査結果を基に、令和7年8月4日開催の第3回第1地区教科用図書採択教育委員会協議会において協議が行われ、教科用図書としての使用が承認されたものであります。
麓教育長職務 代理者	以上、3件の議案についてご説明いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。
山崎総務課長	ただいま説明のありました3件の議案に対する質問等がございましたらお受けいたします。 （質疑なし） それでは、令和7年議案第26号から議案第28号までについて、承認することにご異議ありませんか。 （一同了承） それでは、そのように承認いたします。 続いて、3のその他、次回教育委員会予定案件及び日程について説明願います。 山崎総務課長お願いします。 次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、令和7年第3回江別市議会定例会の一般質問について、令和7年度小中学生国内交流研修事業について、審議事項と

麓教育長職務 代理人	して、江別市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定についてなどを予定しております。また、次回の定例教育委員会の日程でございますが、９月２５日木曜日午後３時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。 ただいまありましたように、次回の定例教育委員会は、９月２５日木曜日午後３時からということで、皆様よろしいですか。 (一同了承) 以上をもちまして、第８回定例教育委員会を終了いたします。 (閉会)
-----------------------	---

終了 午後３時１分

署名人（教育長職務代理人） 麓 美絵

署 名 人 兼子 弘詔